

議会 ながいずみ



9月定例会

新体制が決まりました……………	2
28年度決算……………	4
ズバリ! 町政を問う 8人が一般質問……………	10
わが町たんけんクイズ……………	20

おととと
～竹原保育園運動会～



QRコード

2017. 12. 1
No.184

年4回発行(2・5・8・12月)

新たな 議会がスタート!

9月17日(日)に町議会議員選挙が行われ、新たに16人の議員が選出されました。改選後に初めて開かれた9月定例会では、議長に植松英樹議員、副議長に井出春彦議員が選ばれました。また、常任委員会の構成など、議会の体制が決定しました。

このたび、議長という要職に就任し、その役割の重さを実感すると共に、身の引き締まる思いでございます。

私は、ルールにのっとった公平公正な議会運営を心掛け、ペーパーレス化など、議会改革の前進にも取り組みたいと考えています。そして議会としても、池田町長の新たな施策・行政運営や町の諸課題に真摯に向き合い、行政の監視と提言を常に意識し、住民の声が町政に届くよう町の発展に寄与していく必要があります。

今後とも、議会へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



長泉町議会副議長に選ばれましたこと、身に余る光栄とその責任の重みに身の引き締まる思いがいたしております。

私は、議長のもとで議会が円滑に、しかも公平公正に運営されるよう、及ばずながら誠心誠意、努力をいたす所存です。

また、長泉町のますますの発展と繁栄に、最大限の努力を傾注してまいります。

皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

総務民生常任委員会

行政課、企画財政課、地域防災課、福祉保険課、健康増進課、住民窓口課、税務課、長寿介護課、会計課、監査に関することを担当します。



委員
山田 勝
(61歳・4回)



委員
四方 義男
(67歳・5回)



副委員長
下山 哲夫
(68歳・2回)



委員長
宮口 嘉隆
(60歳・4回)



委員
長野 晋治
(59歳・1回)



委員
小永井 康一
(41歳・2回)



委員
柏木 豊
(73歳・3回)



委員
植松 英樹
(47歳・4回)

建設文教常任委員会

建設計画課、工事管理課、産業振興課、くらし環境課、上下水道課、農業委員会、こども育成課、子育て支援戦略室、生涯学習課、学校給食センターに関することを担当します。



委員
井出 春彦
(58歳・4回)



委員
木下 章夫
(61歳・4回)



副委員長
大沼 正明
(53歳・2回)



委員長
杉森 賢二
(41歳・2回)



委員
加藤 祐喜
(30歳・1回)



委員
福田 明
(63歳・1回)



委員
米山 智
(66歳・1回)



委員
下山 和則
(68歳・3回)

議会運営委員会

委員長 下山和則 副委員長 木下章夫
山田勝 宮口嘉隆 井出春彦 柏木豊

広報広聴常任委員会

19ページに掲載しています。

※()内は、年齢・当選回数

財政を維持

29 年第3回定例会は、9月29日から10月30日まで32日間の会期で開かれました。28年度決算の認定をはじめ、人事の同意、条例の制定、29年度補正予算などの議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

※1万円未満は切り捨ててあるため、差引額などは一致しません。

28年度決算のあらまし

一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入約241億7,597万円、歳出約232億180万円、歳入歳出差引額は約9億7,416万円でした。前年度に比べて、歳入は2.6%増加、歳出も2.6%増加しています。歳入歳出差引額から翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支は、約9億2,821万円の黒字となっています。

一般会計歳出（町が使ったお金）

区 分	金 額	前年比
民生費 児童、高齢者などの福祉に	49億 4,035万円	15.7%増
教育費 教育や生涯学習などに	21億 6,001万円	8.6%減
衛生費 健康やごみ処理などに	20億 4,145万円	0.4%減
土木費 道路や河川の整備などに	19億 4,213万円	7.6%増
総務費 行政の運営などに	19億 363万円	3.2%減
その他 消防活動、借りたお金の返済などに	20億 3,551万円	5.2%増
合 計	150億 2,313万円	4.4%増

9月 定例会



こども交流センター



北こども園



SAMとダンスエクササイズ in 長泉



池田柵線の橋梁（整備中）

会計別決算額

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計	155億 5,455万円	150億 2,313万円	5億 3,142万円
国民健康保険事業	43億 8,756万円	41億 6,327万円	2億 2,429万円
後期高齢者医療	7億 580万円	6億 9,784万円	796万円
介護保険事業	25億 9,735万円	24億 5,183万円	1億 4,551万円
下水道事業	9億 3,004万円	8億 6,507万円	6,497万円
土地取得事業	63万円	63万円	0円

地方公営企業会計	収入（税込）	支出（税込）	差 引 額
水道収益的(運営面)	5億 3,143万円	4億 446万円	1億 2,697万円
水道資本的(設備面)	3億 1,554万円	6億 4,971万円	△3億 3,417万円

△3億3,417万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんした。

28年度の成果を認定

堅実な町政運営で健全

一般会計歳入（町に入ったお金）			
区 分		金 額	前年比
町税	皆さんからの税金	97 億 1,003 万円	3.5%増
繰入金	積立金などからの繰り入れ	5 億 4,943 万円	59.7%増
繰越金	前年度からの繰り越し	5 億 689 万円	46.7%減
自主財源その他	使用料など	12 億 5,058 万円	35.2%増
国庫支出金	国からの補助	14 億 6,269 万円	10.1%増
県支出金	県からの補助	8 億 5,785 万円	26.9%増
町債	借りたお金	1 億 3,100 万円	40.9%増
依存財源その他	国の税金からの配分など	10 億 8,604 万円	8.7%減
合 計		155 億 5,455 万円	4.4%増

自主財源

依存財源

財政指標で見る良好な財政力

財政力指数

1.33

財政力の強弱を判断するための
もので、「1.00」を超えるほど
財源に余裕があるとされている。

実質収支比率

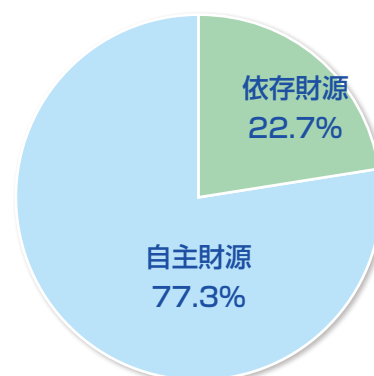
4.7%

財政運営の状況を判断するた
めの指数で、3～5%が望ましい
とされている。

経常収支比率

71.6%

財政構造の弾力性を判断するた
めの指標で、70～80%が望ま
しく、比率が低いほど余裕があ
る。



前年に比べ、自主財源が0.6ポ
イント下回ったが、引き続き高
い水準を維持している。

28年度決算をチェック

28年度の各会計決算は、総務民生常任委員会・建設文教常任委員会に審査を付託しました。当局から説明を受けた後、慎重に審査を行いました。ここでは、主な委員会質疑の内容を紹介いたします。

児童・高齢者などの福祉に

高齢者の外出支援

高齢者タクシー・バス利用助成事業
770万円

質疑 対象者や利用率はまた、利用することができタクシー会社やバス会社は。

長寿介護課長 28年4月1日現在75歳以上の方を対象とし、対象者は4千284人、申請者は2千76人、申請率は48・5%、利用率は74・3%である。利用できるタクシー会社24社、バス会社3社である。

こどもの医療費を助成

こども医療費助成事業
2億5千628万円

質疑 対象の件数は。

こども育成課長 入院は476件、通院は11万7千812件、合計で11万8千288件である。

子育て支援の拠点に

こども交流センター（仮称）運営管理費
1億5千511万円

質疑 整備した遊具は遊びに適したものか。

子育て支援戦略室長 遊具は年齢に応じたものをゾーンごとに整備し、利用者からは一定の評価を得ている。

教育や生涯学習などに

ICT教育の充実を

電子黒板設置事業
小学校 1千254万円
中学校 1千407万円

質疑 据置型電子黒板を導入した効果は。

こども育成課長 教員の教材作成などに係る準備の時間が短縮され、多忙化解消の一助につながっている。また、子どもが視覚的に捉えることができ、児童・生徒の理解向上に寄与している。



電子黒板を利用した授業

トイレの洋式化

質疑 洋式化の進捗率は。
こども育成課長 小学校では55・8%、中学校では64・5%である。



安全な学校給食を

提供

除去食対応給食調理・配送業務
947万円

質疑 除去食対応給食の学校別人数は。

学校給食センター所長 長泉小学校24人、南小学校15人、北小学校8人、長泉中学校5人、北中学校9人の計61人である。

健康やこみ処理などに

がん検診の無料化

成人健康診査事業
1億6千681万円

質疑 がん検診無料化の成果は。

健康増進課長 いずれのがん検診も、前年度より受診者数が増加したことが成果と考えている。

気軽に健康づくりを

身近で健康づくりプロジェクト調査業務
388万円

質疑 調査業務の結果は。

健康増進課長 遊歩道整備は、梅の木沢川の上流域では困難であり、下流域の河川後背地を利用した遊歩道整備が可能ではないかと考えている。

新火葬場の整備に

新火葬場整備負担金
416万円

質疑 調査業務の内容は。

くらし環境課長 民間事業者の参加意向調査や事業方式の選定の検討を行った。測量業務は、地形測量と用地測量、境界の確定。地質調査業務は、計画地内4力所のボーリング調査を実施した。



調査された梅の木沢川

長泉町高齢者タクシー・バス利用助成事業利用券	
利用券番号	第 号
助成額	100円
有効期間	平成30年3月31日まで
発行者	長泉町長

「住民満足度」の向上は



整備された駐車場

道路や河川の
整備などに

駿河平自然公園の
改修

駿河平自然公園改修

工事
3千104万円

質疑 整備した駐車場の
駐車可能台数は。

工事管理課長 普通乗用
車29台、大型バス2台、
身障者用1台である。

生活道路の安全確保

その他道路整備

事業費
2億7千300万円

質疑 整備目的と効果は。
建設計画課長 町道40

5号線は、南一色地先と
町北部地域の円滑な道路
交通を確保することを目
的としており、町道下長
窪駿河平線の朝夕の混雑
の解消に効果があると考
えている。町道269号
線は、町道中土狩竹原線
と交差する箇所の狭あい
部分を拡幅し、円滑な道
路交通を確保することを
目的としており、生活道
路の安全の確保に効果が
あると考えている。



審査中の総務民生常任委員会

行政の運営などに

公共交通環境の向上

コミュニティバス等
再編検討調査業務
316万円

質疑 調査の内容は。

企画財政課長 長泉・清
水循環バスの乗降客数な
ど運行状況を確認し、課
題を整理すると共に、既
存路線と新たな運行路線
検討のための資料をとり
まとめた。

マイナンバーカード

質疑 利用できるサービ
ス内容は。

住民窓口課長 身分証明
書としての利用、転入手
続きの簡素化、コンビニ
エンスストアでの諸証明
の交付などがある。戸籍
全部事項証明書などは、
住所と本籍が長泉町の方
のみ交付可能である。

外国人向けの
防災対策

外国語版防災

ガイドブック作成

77万円

質疑 パンフレットの
内容は。また外国人企業へ
の配布予定は。

地域防災課長 6カ国語
（日本語・英語・スベ
イン語・ポルトガル語・中
国語・韓国語）対応で1
千部作成した。外国人企
業の配布は今後進めてい
く。

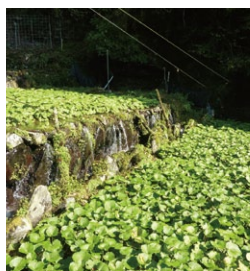


その他

新たな特産品の開発

町特産品開発研究

事業
49万円



栽培中のわさび

質疑 わさび栽培事業の
進捗状況は。

産業振興課長 28年度よ
り5カ年計画で事業を開
始している。28年度は、
ほ場や灌漑施設の整備と
苗植えなどを行った。一
般的にわさびの生育には
13カ月以上要するので、
28年度はまだ収穫には
至っていないが順調に生
育している。また、今後
の流通経路の検討などを
実施した。

国民健康保険事業

質疑 訪問保健指導事業
の効果は。

福祉保険課長 生活習慣
病対策を目的に重複・多
受診者などの訪問指導、
訪問健康相談を在宅保健
師4人に依頼し、かかり
つけ医の推進と生活習慣
病の予防に努めた。28年
度の訪問件数は63件、要
再指導は18件である。



審査中の建設文教常任委員会

賛成多数
認定

反対討論2件
（木下章夫）
（福田 明）

賛成討論2件
（井出春彦）
（大沼正明）

会 計	補正予算額
一 般 会 計	2億3,322万円増
国民健康保険事業	1億5,644万円増
後期高齢者医療	2,222万円増
介護保険事業	1億4,147万円増
下 水 道 事 業	2,697万円増

1万円未満は切り捨ててあります。



29年度補正予算

補正予算の主な委員会質疑の内容を紹介します。

将来に備えて

財政調整基金積立費

1億5千万円

質疑 財政調整基金積立事業費に1億5千万円を計上した理由は。

企画財政課長 地方財政法で決算上、剰余金が生じた場合は、2分の1を下らない金額を、剰余金が生じた翌々年度までに積み立てることなどが定められているため、前年度繰越金約4億8千500万円のうち、財政調整基金積立事業費として1億5千万円計上した。不足額は今後、30年度末までに積み立てを行う。

落雷被害を修繕

焼却場維持補修費

1千71万円

質疑 落雷に伴う修繕の内容と、修繕に落雷対策は含まれるのか。

くらし環境課長 今回の修繕は、落雷に伴うごみ計量器のカードリーダー、プリンター、モニターで958万円、滅菌ポンプ113万円の修繕であり、落雷対策は含まれない。



修繕された計量器

産直市へ補助

産直市推進事業

補助金
323万円

質疑 補助金の内容は。

産業振興課長 JAなんすん長泉支店の新築による産直市の新たな整備に伴い、長泉産直市運営委員会からの要望に基づき、木製商品陳列棚や冷蔵オープンケース、冷凍ショーケースなどの什器備品の購入費用補助を予定している。



要望により購入された備品

寄附金の有効活用

中学校図書整備費

50万円

質疑 篤志家からの指定寄附金の全額を長泉中学校の学校図書購入費に充てる理由は。

こども育成課長 学校図書館に整備すべき蔵書冊数の達成状況率、司書教諭、学校図書館補助司書の意見、近年の学校図書の寄附、寄贈状況などを踏まえ、今回は全額を長泉中学校の図書整備費に充てることにした。



長泉中学校の図書室

人事

副 町 長

固定資産評価員



たかだ まさのり
高田 昌紀 氏

教 育 長



いしい のぶあき
石井 宣明 氏

教 育 委 員



すぎむら かずよし
杉村 和義 氏

議会選出監査委員



かしわぎ ゆたか
柏木 豊 氏



長泉町のマンホールのふた

下水道事業を企業会計方式に 30年4月から

長泉町下水道事業に地方公営企業法の規定を適用
することに伴う関係条例の整理に関する条例の
制定

全会一致
可決

この条例の内容は

下水道事業に
地方公営企業法
の規定を適用す
るため、関係する
7条例を整理す
るために新たに
条例を制定する
もの。

条例の一部改正

・長泉町個人情報保護条
例の一部を改正する条例
・長泉町地域包括支援セ
ンターの職員及び運営に
関する基準を定める条例
の一部を改正する条例

意見書の提出

「道路整備に係る補助
率等の高上げ措置の継続
を求める意見書」に関係
機関に提出した。

賛成多数
可決

反対1
(小永井康一)

質疑 下水道事業の基本
事項として処理区域、処
理人口などを規定してい
るが、数値の根拠は。ま
た、変動が生じた時の対
応は。
課長 町公共下水道事業
計画の数値を使用したも
ので、今後、変更が生じ
た時は条例で規定する基
本事項も、条例の一部改
正で対応する。

防災センター(仮称)
新築工事請負契約
3億5,067万6,000円

全会一致
可決

30年9月 完成予定



整備中の防災センター(仮称)

第1回 臨時会

29年第1回臨時会は、8月3
日に開かれました。契約の締
結、補正予算を審議し、原案
どおり可決しました。

工事の概要

鉄骨造3階建てで、
敷地面積は約1千2
11㎡、建築面積約
559㎡、延床面積
約1千350㎡。
常設の災害対策本
部室、会議用の多目
的室、防災倉庫、防
災資機材倉庫などを
配置する。

補正予算

新火葬施設の33年
度の供用開始に向け、
早期に基本計画、基
本設計、実施設計を
行うために、一般会
計に1千781万円
増額するもの。

賛成多数
可決

反対討論1件
(小永井康一)
賛成討論1件
(栗原睦明)

質疑 基本計画策定にあ
たり、住民から意見を聴
取する場を設けるか。
課長 基本計画を策定す
る中で、裾野市、長泉町、
両市町の住民の方の意見
をお聞きする場を考えて
いる。

質疑 新火葬施設の設計
業務に必要な経費の総額
1億2千万円の内訳は。
くらし環境課長 基本計
画600万円、基本設計
3千300万円、実施設
計に7千640万円、そ
の他意図伝達460万円
を想定している。国土交
通省発文の基準と照らし
合わせ、金額の妥当性を
確認した。

ズバリ!

町政を問う

◆ 8人が一般質問 ◆

1 杉森 賢二 議員

- 1 こどもたちが活躍できるステージを
- 2 観光・文化交流事業の推進を

2 福田 明 議員

- 1 高校卒業までの医療費無料化は
- 2 就学援助制度の入学準備金の早期支給を
- 3 火葬場問題は

3 小永井 康一 議員

- 1 新町長の住民の声を聞く覚悟は
- 2 新町長の火葬場に対する見解は

4 木下 章夫 議員

- 1 新町長の所信表明を問う ※
- 2 前町長の報酬は税金の無駄遣いではないか ※
- 3 長泉町火葬場計画（裾野移転ありき）は当局の政策と説明責任（情報開示）に大きな瑕疵がある
（※通告したが質問なし）

5 四方 義男 議員

- 1 新体制下で考えたいまちづくり
- 2 町長の所信表明に関して

6 下山 哲夫 議員

- 1 安全・安心に生活できる地域の創出を

7 山田 勝 議員

- 1 成年後見制度への対応は

8 柏木 豊 議員

- 1 安全・安心なまちづくりの推進を
- 2 都市基盤整備の推進

一般質問とは…議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など諸問題を、報告や説明を求めたり質問することをいいます。



すぎもり けんじ 杉森 賢二 議員



ワンガヌイ市のマスタースゲーム

Q よりよい子育て教育環境の整備を

A 国・県と連携をはかり支援を行っていく

未来に向けた準備を

したい。

障がい児への取り組み

問 鮎壺公園など、遊具設置計画で特徴のある遊具を設置していく考えは、**建設計画課長** 鮎壺公園

には、子どもから高齢者まで、幅広い世代が使える多目的広場や公園のシンボルとなるような複合型の大型遊具なども計画

問 障がい児に対し、自立支援協議会を生かした支援体制、児童発達支援センターの計画状況は。**福祉保険課長** 障がい児の居場所となる施設は現状町内にはない。また、

支援は居場所のあり方なども含め、町の考えだけでなく、29年4月設置の障がい者自立支援協議会で多くの関係者による総合的な調査・研究を進めていきたい。

問 イベント案内・コミユニティ拡大を目的としたポータルサイト活用で、

新たな情報発信とネットテレビの活用を。**行政課長** 情報発信をさらに強化し、利用者が活用しやすいホームページへの改善をはかるため、全面的なリニューアルを予定している。その中で子育て世代の方が関心を持てる情報提供の仕組みも工夫していきたい。

Q 国際姉妹都市提携30周年記念事業の計画を

A 記念式典・住民交流イベントなどを計画したい

今後の国際交流事業の推進を

問 ワンガヌイ市との交流が来年で30周年を迎えるが、町の考えは。**行政課長** ワンガヌイ市

側から、8月に開催される長泉わくわく祭りの開催に合わせて本町を訪問したいとの意向が示され

ている。これに合わせて記念式典の開催や町国際交流協会主催の住民交流イベントの開催、姉妹都市提携の宣言項目に係る各種団体との懇談会などを計画したい。

問 ワンガヌイ市が国内スポーツ大会「マスタースゲーム」の開催地と聞

いているが町の関わりは。**課長** 町国際交流協会と協力し、ワンガヌイ市との姉妹都市提携30周年を記念して、公式訪問団や親善訪問団を計画していきたい。31年2月予定、ニュージーランド市民スポーツの祭典マスタースゲームの開催に合わせることで、観光やワンガヌ

イ市民との交流に加え、スポーツイベントにも参加できる魅力的な内容にしたい。また、ワンガヌイ市に寄贈した茶室を活用した文化交流や、これに合わせた日本文化や町を紹介できるイベントの開催もワンガヌイ市と共に検討したい。



中学校の新入学用品の一部



ふくだ あきら
福田 明 議員

Q 就学援助制度の入学準備金の早期支給を

A 課題解決に向けて調査・研究していく

支給の現状は

問 入学準備金の支給が9月になっている理由は、

な事務処理を経て、支給額を決定する。これらの作業に時間を要するため、9月末に支給している。

問 前年度に告知して、保護者が必要としている2月から3月に支給できないか。

すべき課題があり、現段階では、この手法をとらざるを得ないと判断しているが、生活困窮者への配慮も必要と考えるので、課題解決に向けて調査・研究する。

校の新入学用品費は、国の要保護生徒の基準額を支給している。現状では新入学用品費の増額は考えていないが、近隣市町の動向を注視しながら対応していく。

こども育成課長 年度当初の申請後、確定申告などによる前年度収入の確認を行い、7月に支給対象者の可否を決定し、その後、支給額積算に必要な

課長 収入が確定しない段階での認定など、検討

問 中学生の新入学用品費の増額を。
教育部長 町では、中学

Q 高校卒業までの医療費無料化は

A 30年度早期の実施を目指す

所信表明を問う

担なしの現物給付方式での実施を考えている。算している。

その他の質問
・火葬場問題は

問 町長は所信表明でこども医療費を高校生相当年齢まで拡大すると掲げているが、実施時期、予算、対象人数は。

町長 所信表明で申し上げたとおり、高校生相当年齢まで拡大し、自己負

こども育成課長 実施に向けてクリアすべき課題への対応に時間を要するため、具体的な時期は言えないが、30年度の早期に実施できるよう、今年度から準備を進める。予算は約4千万円、対象人数は約1千700人と試



こながい こういち
小永井 康一 議員



住民により運営される水道施設

町長選挙の所感
問 住民の火葬場移転経過の理解度は高いか。
町長 選挙の結果、裾野市と共同整備とした結果を理解していただいたと考える。

火葬場計画検討委員会
問 4回で十分な審議が出来たか。
くらし環境課長 十分審議がされたかと判断している。

町民向け火葬場説明会
問 委員10人のうち、町長指名は何人か。
課長 公募ではなく、識見を有する方を10人指名し、委嘱した。

今後の想定
問 建築基準法51条の文言を書き換えて町民に配布した意図は。
建設計画課長 法文も載せ、その解釈をわかりやすく図示したもので、誤りとは考えていない。

Q 火葬場の移転は評価されたか
A 裾野市と共同整備を理解していただいた

組合への理解度
問 組合のこれまでの経緯・運営状況などを把握しているか。
町長 組合の成り立ちを把握している。
上下水道課長 組合は自主運営のため、現在の運営状況、具体的な資金状

今後は
問 施設老朽化や災害時の想定は。
課長 施設の老朽化は把握している。町は維持管理などの助言をしたことはあるが、具体的な災害の想定はしていない。

問 災害などで組合が破綻した場合の救済措置は。
課長 組合運営が行き詰まることのないように自ら対策する必要がある。持続的な組合運営ができるようにするための計画策定が状況改善の契機になると考える。

問 町水道事業に編入する見込みは。
課長 多額の費用が予想され、これを町水道利用者に転嫁することはできない。他の専用水道との公平性の面からしても編入は考えていない。なお組合で計画策定を行う場合の手続きの相談などには応えていく。

Q 桃沢水道組合の状況と今後の相談は
A 今後も相談などには応じていく

A photograph of a traditional Japanese building, likely a residence or a small shop. The building features a dark, tiled roof and a prominent brown metal structure on top, possibly a chimney or a decorative element. The walls are white, and there is a large window with multiple panes. A small garden with red flowers is in the foreground. The building is surrounded by a paved area and some greenery.

Q 県と町の法解釈が異なるのでは

A 現火葬場は51条ただし書の適用は受けない

決定を受けた同等の扱いではないのか。

問 公開討論会で町長は「但し書き許可を受けられないため、現在地ではできない」と言ったが、28年9月21日に県沼津土木事務所に長泉町の火葬

能である。昭和34年以前
の施設は同等の扱いとは
ならず、都市計画決定を
しなければ建て替えはで
きない。

いた。町の見解は。

建設計画課長 現在の火葬場は昭和43年建築。町が都市計画区域に編入したのが昭和34年。それ以前に建てられた施設が現存する場合は法の適用を受けるが、現火葬場はそれ以降の建築物であるため適用を受けない。

問 議会は特別委員会を結成し、現在地建て替えの提言をした。それに対して2年間何の取り組みもなかったが。

町長 議会特別委員会からの提言、検討委員会からの答申、異なる2つの案に、それぞれ真摯な議論を頂いたと理解した上で、前町長が総合的な判断のもと決定した。

る方針を明らかにした」ものである。

問 裾野市と共同による建設が議決していないのに、決まったと町民に誤解を招く報道は議会軽視では。

町長 マスコミの報道は

問 民意の確認のために住民投票を実施する考えは。

町長 火葬場は議会でス Tepp を踏んで議決を頂いて進んでいる事業であり、住民投票をする考えはない。

住民投票

問 みしま聖苑広域の考
えは。

町長 既に広域で運営している施設に長泉町が一緒になるということは施設を借りるイメージになる。新規に裾野市と共同ではあるが町民のための火葬場を造ることは大きな違いがある。



よ も よしお
四方 義男 議員



整備中の沼津三島線

Q 新体制下で考えたいまちづくりは

A 地域性などを生かしたまちづくりに努める

**地域イノベーション
戦略と組織体制は**

問 地域活性化と町の将来研究に、大学の研究室との連携研究はどうか。

企画財政課長 県内の大学が連携し、「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」が設立されている。今後、ゼミナールと連携

するなど、研究を進めていく。

子育て環境のさらなる前進は

問 幼稚園、保育園、こども園の職員を増やし、少しでもゆとりある教育保育ができる環境づくりをすべきと考えるが。

町長 今後の保育必要な

をを勘案しながら、定員管理計画などの中で増員数を検討していく。

生活圏の安心・安全

問 防犯灯、防犯カメラのさらなる設置で犯罪抑止への取り組みは。

地域防災課長 防犯カメラの集中整備や防犯灯の

全灯LED化を継続実施する。

問 町全体にゾーン30の増設、拡充で通学路や生活道路の安全確保は。

総務部長 29年度は南幼稚園や南小学校周辺を設定する旨を裾野警察署から報告を受けている。

Q 町長の所信表明

A 健全な行財政運営に努める

沼津三島線の整備は

問 住民説明会から相当期間が経過している。地域住民に進捗状況や交通規制を含めた説明会の開催は。

都市環境部長 県と連携し事前に住民説明会を開催する。

問 職員の意識改革とは何を意図するのか。

町長 町民との接遇は最初の印象が大切である。近年、住民ニーズが多様化する中で、目まぐるしく変わる情報を的確に収集し、それぞれの職員が自ら担当する事務事業を改革・改善することなどを意識することにより、

住民サービスの向上を目指すということである。

問 町の認知度とイメージアップ、町民の地域愛を高めることを目的としたマイクロ・インフルエンサーや都内FM局での番組研究はどうか。

行政課長 町に対する認知度の獲得やイメージ

アップをはかるためには訴求対象に対して手法や組み合わせを考える必要がある。情報発信の手法・手段については重要な検討項目であり、調査研究を進めていく。

※マイクロ・インフルエンサー…インターネット上で多くのファンを抱え、強い影響力を持つ人のこと。



農作物に被害を与える猿



しもやま てつ お
下山 哲夫 議員

Q

安全・安心に生活できる地域の創出を

A

森林整備計画に基づき計画的に実施する

荒廃森林の整備を

問 町有林・民有林の間伐の現状と近隣市町との連携は。

産業振興課長 町有林は「森林経営計画」に基づき、民有林は町の「森林整備計画」に基づき間伐をしている。計画は、森林法の規定に基づき定め

ているため現段階での連携は難しい。

問 災害や鳥獣被害に対し、整備された山林に花桃や実の成る木などを植栽し、実験的に町有林で実施することは。

課長 鳥獣による被害は年々増加しており、一般住民にまで被害が及んでいる。人里離れた山林に植栽することで、鳥獣の生息域と人間の生活場所

のすみ分けができ、広葉樹を植栽することで大雨による災害対策に一定の効果があると理解している。間伐後の町有林に計画はないが、近隣市町との状況を踏まえた上で研究していきたい。

問 森林を見て回り、維持するためのアドバイスを行う環境監視委員の設置を。

課長 事業を実施している事業者は森林の専門的な知識を有し、定期的に現地を巡回し実施箇所を決定し、監視もしているため、委員の設置は考えていない。

優良農地の保全是

問 猟友会と連携し、人家まで被害の及ぶ猿の追払いが必要だが、見解は。

課長 猿による被害対策は猟友会に委託している。週末に実施している捕獲事業を、8月末から緊急的な捕獲に限り平日も対応している。今後地元自治会などと協議し、地域ぐるみで追払いを行い、自己防衛のための勉強会も検討したい。

問 優良農地を維持するため、東部農林事務所、役場、JA南駿の取り組みや現状と今後の計画は。

都市環境部長 町では農業委員会、JA南駿との連携により耕作放棄地の賃貸借の相談や、東部農林事務所と新規就農相談などの連携をしている。また、人事交流の職員を受け入れ、農業従事者からの技術面での相談には迅速に対応し、農家所得の向上を目指している。

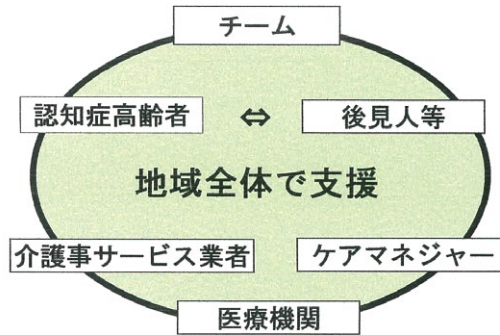
桃沢川を活用し遊歩道の整備を

問 遊歩道整備の手順は。建設計画課長 桃沢川は県が管轄しているため、

県の河川海岸環境整備事業に採択される必要がある。町は事業費の2分の1を負担し整備するもので、地域からの要望を受け町が調査をして設置可能と判断した場合は、県へ要望することになる。



やま だ まさる
山田 勝 議員



地域連携ネットワークによる
チーム見守り体制のイメージ

Q 成年後見制度への対応は

A 一層の利用促進をはかっていく

成年後見制度

問 活用状況は。

長寿介護課長 地域包括支援センターでの制度の具体的な相談件数は28年度6件、29年度は3件となっている。成年後見人の役割や費用、申立手続きなどを説明し、必要に応じて法テラスやリーガルサポートセンターなどの専門機関を紹介している。また、判断が低下している認知症高齢者で身寄りがなく保護が受けられない事態を防ぐため、首長申立の制度があり、過去2件実施をしている。

問 町民に対する周知や啓発、相談、助言などの支援を充実させる必要がある。町の対応は。

課長 弁護士や司法書士を講師に招き、定員20人で2日間に分けて、制度の概要、制度利用の流れ、後見人の仕事内容など、制度の理解を深めるため「成年後見制度活用講座」を27年度より毎年開催している。

問 「成年後見制度活用講座」の参加人数は。

課長 27年度は13人、28年度は11人である。

問 今後、制度利用者の増加に対応できるよう各専門職団体との連携を強化すべきと考えるが、どのような課題を持ち、今後取り組んでいくのか。

課長 地域包括支援センターによる利用促進、さらに本人や親族による申立が難しい認知症高齢者などに対する町長申立、後見人への報酬助成などの支援を適切に行い、今後も町、地域包括支援センター、社会福祉協議会や司法関係団体などと連携した相談体制の充実をはかっていく。

※法テラス…国が設置した法的トラブル解決の総合案内所のこと。

リーガル・サポートセンター…判断能力が不十分な方々の暮らしと財産を守る法人のこと。



整備中の池田柵線



かしわぎ ゆたか
柏木 豊 議員

Q 安全・安心なまちづくりの推進を

A 無電柱化推進計画を策定し研究する

無電柱化の推進を

照度化事業との兼ね合いもあり実施について検討したい。

問 防災・通行・景観に影響する無電柱化推進の考えは。

健康づくり施策

問 検診後の指導は。

健康増進課長 特定保健指導が必要と思われる方に通知案内し適宜指導を行っている。成果が認められるため、さらなる利用啓発に努めたい。

問 緊急輸送路とアクセス道の確保は。

地域防災課長 緊急輸送路は県6路線、町31路線の延長約25kmが指定されているが、電柱数は把握していない。有効性は認識しているが防犯灯の高

問 はしご車運用と通行障害となる電柱は。

課長 4階建て以上の建物242棟が対象となる。大型車両のため、活動場所により制約を受けると想定する。

都市環境部長 28年度に無電柱化基本調査を実施。都市計画道路高田上土狩線をモデル箇所の候補とし計画を進めている。今後、推進計画の策定や道路占用禁止区域指定などを研究したい。

Q 都市基盤整備の推進を

A 課題を解決し着実に推進していく

まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況

問 企業誘致の推進は。

都市環境部長 各種補助金を活用しながらファルマバレープロジェクトをはじめ各々推進している中、インフラ整備や企業要望など新たな課題も発生している。一つずつ解

問 新たな道路整備が必要では。

部長 国道246号や町道下長窪駿河平線の朝夕通勤時の交通処理は課題であり、246号の城山交差点に新たな幹線道路の可能性調査を進行している。

問 国道246号線と片浜池田線・池田柵線の交差処理は。

建設計画課長 将来形は立体交差を予定している。現在進めているのは暫定2車線の併用で平面交差になり、4車線併用時には国と県と町で協議を進めていくことになる。

問 県道への移管は。

課長 高田上土狩線と池田柵線が考えられるが、県との協定や覚書などはなく、具体的な協議もない。今後、未整備区間が整備され、広域幹線道路となる時に県や関係市と相談したい。

期待しています

私の要望・意見

8月1日号の「わが町たんけんクイズ」に応募していただいた中から、ご意見を抜粋して紹介します。

町立図書館の拡充を要望します。図書、雑誌、貸し出し可能なDVDやCDが少なく、利用者も少ないと思います。せっかくの図書館がもったいないです。

(30代 女性)

公園の整備とありましたが、公園が増えてきて、遊びに行きやすくなりました。雨の日に遊べる所を増やしてほしいです。

(30代 女性)

教育・福祉・生活環境の充実を今後も願います。

(50代 女性)

ぼくは体が強い方ではなくお医者さんによく行きます。医療費の助成は助かるとお母さんも言っています。

(10代 男性)

新たな教育施策の展開の回答に、中学生には英検の検定料を補助しているとのことでしたが、外国語教育の早期開始もあるように、英検3級を受けている小学生も多数います。中学生に限ったものでなくしてほしいです。

(30代 女性)

知らないうちにどんどん建物が増えたり、道路が開通している。勢いのある事はこういう事なのですね。にぎやかになるのは嬉しいし楽しみです。

(20代 女性)

豪雨災害などのニュースを見るたびに他人事ではないと不安になります。防災センターの整備だけでなく、各避難所ごとに誰がどう動くのかなど、より具体的なシュミレーションを行って、いざという時のために備えていかなければと思います。

(30代 女性)

竹原グラウンドの開場を早めていただけないだろうか。地元老人会で利用させていただいているが、夏季の暑い時期の暑さ対策として、9時からを8時からにしたい。

(70代 男性)

読まれる広報誌を

目指して



新たなメンバーで広報広聴常任委員会がスタートしました。

わかりやすい言葉と表現で、皆さんが手に取って読んでもらえる「議会ながいずみ」を目指して編集していきます。

委員長 大沼 正明 副委員長 長野 晋治
委員 山田 勝 下山 哲夫 小永井 康一
米山 智 福田 明 加藤 祐喜

インターネットで定例会をご覧ください

定例会の様子がインターネットで視聴できます。定例会の開催時間帯には、生中継で配信しています。終了後は、録画されたものを視聴できます



▲議会インターネット中継画面

議員が
聴く!

まちかどインタビュー

～転入者の声～



①どちらから転入されましたか。②長泉町を選んだ理由は。
③今までの街と比べて印象は。④町内のお気に入りの場所は。⑤町に望むことは。

- ①裾野市
- ②近年、発展してきているし、将来性を感じたので。
- ③生活しやすい。道が入りくんでいる。事故の元になると感じます。
- ④運動公園
- ⑤自転車が運転しづらいので、舗道の整備をしてほしい。公園が増えるといい。

(40代 女性)

- ①愛知県名古屋
- ②親の実家があったので。
- ③長泉町は子育てにはいい町だと思いました。
- ④桜堤付近。買い物や子ども交流センターがあり便利。
- ⑤公園内の遊具が少ないので増やしてほしい。幼稚園の人工芝を増やしてほしい。

(40代 女性)

ご意見ありがとうございました。

「〇津の湧水」
ヒント：下長窪にあります。



わが町
たんけんクイズ

ここは
どこ
でしょう?

Vol.122

町内にあるジオサイトを出題します。○の中に入る言葉をお答えください。正解者の中から抽選で10人の方に図書カードを贈呈します。

応募方法

●はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、議会ながいずみの感想を書いてお送りください（お寄せいただいたご意見は紙面で紹介させていただきます。場合があります）。

※メ切は1月4日（木）消印有効です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先

〒411-8668
長泉町中土狩828番地
長泉町議会
広報広聴常任委員会

前回の正解は
駿河「平」でした。

（応募総数26通）

編集後記

改選後、初めての議会ながいずみです。今回から、頂いたはがきの内容は全議員に配布し、共有することになりました。読まれた感想や要望をはがきでお知らせ下さい。

議員は、それぞれの信条で議案に表決します。議会運営が公正中立と同じく議会広報誌として賛成・反対に偏ることなく編集いたします。

追記

公職選挙法により、地域行事などへの議員による寄附行為や印刷による年賀状は禁止されています。町民皆さまのご理解をよろしく願います。（大沼）

発行責任者

議長 植松 英樹

広報広聴常任委員会

委員長 大沼 正明

副委員長 長野 晋治

委員 山田 勝

委員 下山 哲夫

委員 小永井 康一

委員 米山 智

委員 福田 明

委員 加藤 祐喜